

ジュニアレジデント(初期臨床研修医) 卒後臨床研修プログラム

Junior Resident Training Program



はじめに

当院は、関西電力株式会社が社員の福利厚生ならびに地域における医療の拠点として昭和28年に開設した、ベッド数400床の総合病院です。平成16年度からの卒後臨床研修必修化に対応して、日常診療で遭遇するさまざまな疾患・病態に対処できるような診療能力を身につけられる研修システムを構築しています。各科ローテーションだけでなく、臨床講義を数多く開催するなど、研修医に必要な基本的診療能力の習得を支援しています。

また、2年間の卒後臨床研修修了後、シニアレジデントへの応募が可能です。



関西電力病院
院長
滝 吉郎

CONTENTS

はじめに	1
01 研修プログラムの目的と特徴	2
02 病院の概要	2
03 プログラムの種類と研修施設	4
04 プログラムの管理と運営	4
05 研修課程	5
06 各研修カリキュラム	5
07 教育に関連するその他のカリキュラム・環境	6
08 研修医の評価方法	6
09 プログラム修了の認定	6
10 研修医の処遇	6

関西電力病院の基本理念

- 安全で、患者さま中心の病院をめざします。
- 地域医療との連携を推進し、開かれた医療を行います。
- 責任と誇りを持って、医療の向上に努めます。

関西電力病院患者さまの権利

- 1 尊厳を守られる権利**
人格、価値観を尊重した医療を受ける権利があります。
- 2 最善の医療を受ける権利**
安全・適切で最善の医療を、公平に受け続ける権利があります。
- 3 説明を受け、選択・決定できる権利**
医療内容について、理解できる方法で十分な説明を受ける権利があります。また診療に関して、拒絶を含め自由に選択し、決定できる権利があります。
さらに他の医師の意見を求める権利があります。
- 4 セカンドオピニオンを受ける権利**
他の医師の意見を求める権利があります。
- 5 情報に関する権利**
十分な医療情報を受け取る権利があります。
また、診療上必要とされる個人情報やプライバシーが守られる権利があります。
- 6 健康教育を受ける権利**
健康に関する責任を自覚できるよう、教育・説明を受ける権利があります。

01 研修プログラムの目的と特徴

当院は単なる企業立病院にとどまらず、真に地域に貢献できる病院として発展してまいりました。その存在意義が大きくなるにつれ、病院スタッフのモチベーションはさらに上がって医療レベルの向上につながり、よい循環を続けています。さらに医師臨床研修制度においては、良医を育てるという社会貢献を目的に、当院の臨床研修プログラムは構成されています。研修を円滑に進めるための院内調整のみならず、臨床講義を数多く行い、直接の指導にも関わっています。教育を通して病院全体の活性化にも寄与しています。当院レジデント教育のモットーは、『当り前のことを当り前にできる医師を育てる』です。『当り前のこと』とは『各科共通項』、『医師としてのminimal requirement』です。将来何科に行ってもブレることのない、太い芯を持った医師になってもらえるよう、『当り前』を意識して掘り下げ、徹底して指導することを心がけています。

当院の卒後臨床研修は、前期2年のジュニアレジデント(初期研修)とシニアレジデント(後期研修)に分かれています。ジュニアレジデントの2年間は、厚生労働省の卒後研修プログラムに沿って幅広い臨床医としての基礎の習得に充てます。1年目は内科・外科・救急部門などのローテートを行い医師としての基本的な姿勢をしっかりと身に付けていただきます。2年目は産婦人科・小児科・精神科・地域医療・救急部門など厚生労働省の定めた必修分野の研修を行うとともに、各人の希望も加味して選択科目をローテートしていただきます。また初期研修終了後もシニアレジデント(後期研修)として、新しい専門医制度にそった専門研修が可能で、当院でさらなる研鑽を積んでいただくことができます。

02 病院の概要

関西電力病院は、当初『社員の福利厚生と地域医療への貢献』を目的に昭和28年に創設されました。昭和42年に現在の地に移転し、患者さま中心の医療と医療の質向上、地域に開かれた病院を理念に掲げ、大阪府北部から兵庫県南部にかけての基幹病院として、急性期医療を中心に診療を行っています。病院の特徴としては、総合病院であると共にがんや生活習慣病などの慢性疾患、脳卒中、急性冠不全をはじめとする急性期の血管障害の診断や治療にも力を入れています。とくに病診連携を推進し、地域のかかりつけ医の先生方に気軽に御利用いただけるようにシステムの充実を心がけています。

当院は関西電力の直営病院であり、ニーズに即応した診療システムを弾力的に運用できることが最大の特徴です。一般診療のみならず、救急医療や高度の画像診断技法の開発などにも力を入れています。臨床研究も積極的に行っており、学会発表や論文発表も多く、種々の学会の認定教育病院にも指定されています。

2013年5月に開院した新病院では、「回復期リハビリテーション病棟の開設」、「手術室・救急診療室の高機能化、最新鋭医療機器の導入」を実施し、これまで以上に満足度の高い医療の提供が可能となりました。

充実した設備・環境の中、自由度の高い臨床研修プログラムを実施しております。

診療科概要

診療科目

内科・総合診断科、循環器内科、消化器・肝胆膵内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌代謝センター、呼吸器内科、呼吸器外科、脳神経内科、心療内科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、脊椎外科・手外科・整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、形成再建外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、緩和医療科、病理診断科、救急集中治療科

中央診療センター

薬剤部、リハビリテーション部、放射線部、臨床検査部、内視鏡部、病理部、手術部、疾患栄養治療センター、臨床工学部、外来化学療法室、血液浄化室、救急集中治療部

治療センター

がんセンター、糖尿病・内分泌代謝センター、内分泌腫瘍センター、疾患栄養治療センター、フットケアセンター、救急集中治療センター、消化器センター、呼吸器センター、腎センター、脳卒中センター、睡眠関連疾患センター、手の外科センター、脊椎・脊髄外科センター、マイクロサージャリー外傷センター、心臓血管センター、形態機能再生センター、栄養サポートチーム、呼吸サポートチーム、褥瘡対策チーム、がんサポートチーム(緩和ケアチーム)、認知症ケアチーム、口腔ケアチーム、ラビッドレスポンスチーム

診療部門責任者

院長：滝 吉郎
副院長：藤本 康裕／山田 祐一郎

診療科名	科別プログラム 指導者	指導 医数
循環器内科	加地 修一郎	9
消化器内科	染田 仁	10
血液内科	井尾 克宏	3
腎臓内科	石井 輝	3
リウマチ・膠原病内科	藤田 昌昭	1
腫瘍内科	柳原 一広	1
糖尿病・内分泌代謝センター	浜本 芳之	9
呼吸器内科	伊東 友好	4
脳神経内科	濱野 利明	6
呼吸器外科	吉村 誉史	2
外科	河本 泉	6
乳腺外科	佐藤 史顕	1
心臓血管外科	末永 悦郎	3
整形外科	太田 壮一	6
脳神経外科	中島 英樹	5
リハビリテーション科	惠飛須 俊彦	4
形成再建外科	松末 武雄	4
皮膚科	三谷 恒雄	1
泌尿器科	青山 輝義	3
婦人科	永野 忠義	4
眼科	竹内 篤	3
耳鼻咽喉科	藤田 明彦	5
放射線科	岡田 務	6

診療科名	科別プログラム 指導者	指導 医数
麻酔科	中筋 正人	5
病理診断科	續木 定智	1
緩和医療科	井上 直也	1
救急集中治療科	端野 琢哉	4

協力型病院 診療科名	科別プログラム 指導者	指導 医数
JCHO大阪病院（産婦人科）	筒井 建紀	6
JCHO大阪病院（小児科）	柏木 博子	8
関西医科大学総合医療センター（救急科）	中森 靖	7
阪本病院（精神科）	桂田 明希	3
ねや川サナトリウム（精神科）	松本 均彦	4

協力施設（地域研修）	科別プログラム 指導者	指導 医数
出雲市立総合医療センター	杉山 章	18
おおい町保健・医療・福祉 総合施設診療所	白崎 信二	2
かしいクリニック	柏井 三郎	1
加納内科	加納 康至	1
佐々木内科クリニック	佐々木 敏作	1
高浜町国民健康保険和田診療所	細川 知江子	2
丹後中央病院	楠本 聖典	1
はやしクリニック	林 為仁	1
松下医院	松下 正幸	1
美浜町東部診療所	村寄 文人	1
JCHO若狭高浜病院	秋野 裕信	4

2024. 4. 1現在

教育施設認定学会

大阪府肝炎専門医療機関指定、日本医学放射線学会放射線専門医修練機関認定施設、日本栄養療法推進協議会NST稼働施設認定、日本核医学学会専門医教育病院、日本眼科学会専門医制度研修施設、日本肝臓学会専門医施設認定、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本気管食道科学会研修施設、日本救急医学会救急科専門医指定施設、日本胸部外科学会指定施設、日本形成外科学会認定施設、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本血液学会血液研修施設、日本呼吸器学会認定施設、日本呼吸器外科学会認定修練施設、日本呼吸器内視鏡学会認定施設、日本耳鼻咽喉科学会研修施設、日本循環器学会循環器専門医研修施設、日本消化器外科学会専門医修練施設、日本消化器内視鏡学会認定指導施設、日本消化器病学会認定施設、日本神経学会専門医制度教育施設、日本乳癌学会関連施設、日本脳神経外科学会認定専門医研修施設、日本脳卒中学会認定研修教育病院、日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本皮膚科学会認定専門医研修施設、日本肥満学会認定肥満症専門病院、日本病態栄養学会栄養管理・NST実施施設、日本病理学会認定施設、日本プライマリ・ケア連合学会認定研修施設、日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設、日本麻酔科学会認定病院、日本リウマチ学会教育施設、日本リハビリテーション医学会研修施設、日本臨床細胞学会教育研修施設、日本臨床腫瘍学会認定研修施設、マンモグラフィ検診施設画像認定施設 他

03 プログラムの種類と研修施設

1 プログラムの種類： 基幹型臨床研修指定病院

2 基幹施設： 関西電力病院

3 研修協力型病院： JCHO大阪病院、関西医科大学総合医療センター、阪本病院、ねや川サナトリウム

4 研修協力施設： おおい町保健・医療・福祉総合施設診療所、かしいクリニック、加納内科、佐々木内科クリニック、高浜町国民健康保険和田診療所、丹後中央病院、林クリニック、松下医院、美浜町東部診療所、JCHO若狭高浜病院、出雲市立総合医療センター

04 プログラムの管理と運営

プログラムの円滑な遂行のために、研修管理委員会が組織されています。研修管理委員会は、カリキュラムの実施状況を点検し、カリキュラムの新たな立案や修正の討議を行います。また、レジデントを直接指導する立場にあるスタッフでミーティングを開催してレジデントの研修状態についての評価を行い、その結果を本人に還元し、初期臨床研修修了認定に際して研修管理委員会に意見を具申します。

研修管理委員会

委員長：藤本 康裕（副院長）
 プログラム責任者：表 孝徳
 （糖尿病・内分泌代謝センター部長）

研修指導体制（担当者一覧）

指導責任者：表 孝徳（糖尿病・内分泌代謝センター部長）
 指導者：館 秀和（呼吸器外科部長）
 津崎 光司（脳神経内科医長）
 小山 優花里（消化器内科医員）
 原口 卓也（糖尿病・内分泌代謝センター医員）
 嶋田 有里（呼吸器内科医員）
 チーフレジデント：植田 典子（救急集中治療科シニアレジデント）
 柿原 文太（血液内科シニアレジデント）
 事務：星川 秀久（庶務課 副課長）
 久保 克典（庶務課）

05 研修課程

- 各レジデントにより年度内の診療科ローテーションの順序は異なります。
- ジュニアレジデントは、内科カンファレンスへの出席が義務づけられ、症例の呈示方法や患者の診療方針などについて多角的かつ総合的に指導を受けます。
- 病棟研修では、入院患者の担当医となりますが、患者ごとにその疾患の専門医（主治医）が責任をもった指導医として付き、各診療科の部長回診あるいは検討会などでも個別指導を受けます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	内科①		内科②		内科③		外科	選択外科	救急	救急 (麻酔)	麻酔科	
2年	精神科	地域医療	小児科	産婦人科	救急	ICU	内科④	選択				

- ・内科①～④については、循環器・消化器・血液・腎臓/リウマチ・膠原病・糖尿病内分泌代謝・呼吸器・脳神経の8科からの選択となります。 ※1科8週ローテーション
 - ・消化器外科の研修中に、可能な限り乳腺外科手術も経験していただきます。
 - ・選択外科については、消化器・呼吸器・心臓血管・整形・脳神経・形成・泌尿器・婦人科の8科からの選択となります。
 - ・救急12週の内4週は麻酔救急研修となります。
 - ・精神科・小児科・産婦人科は協力型病院での研修となります。
 - ・地域研修は原則福井県・京丹後地方の地域病院での研修となります。
 - ・2年間の研修期間中に4週分に相当する日数の一般外来を並行研修の形で行います
 - ・2年目の選択科16週については、各科4or8週で担当者と面談の上調整することとなります。
- ※禰がけて当院にて研修する場合は、各基幹病院のプログラムの履修を前提とした当院でのローテーションとなるため、上記の限りではございません。

夜間・休日勤務体制

- 輪番で平日夜間および休日の救急外来研修に就きます。
- 体制はER担当医師とジュニアレジデント1年次・2年次、責任医師、循環器専門医師、脳卒中専門医師、ICU当直医師となります。

06 各種研修カリキュラム

到達目標を達成するための各診療科の方針を病院ホームページに示します。
<https://kanden-hsp.jp/careers/program/index.html>

07 教育に関連するその他のカリキュラム・環境

【教育環境】

□病院から各自に1台ノート型パソコンを貸与しており、インターネットの常時接続が可能で、図書機能としてUp To Dateや医学中央雑誌等により、常に最新の文献検索ができます。
□研修医室を設置しています。

【Clinico-Pathological Conference (CPC)】

□数ヶ月に1度、レジデントの担当症例を中心に病理との症例検討会を行います。

【特別勉強会】

□ACLS（2次救命処置）研修への参加が可能です。
□適時、PLSL（脳卒中病前救護）コース、ISLS（脳卒中2次救命処置）への参加が可能です。

【レジデント勉強会】

□毎週火曜日の朝方に救急症例検討会を行っています。各レジデントの経験症例にフィードバックを与えるとともに、救急診療の知識を共有します。
□毎週木曜日の夕方に臨床のコモンセンスに関する講義を行っています。
□月1回、内科総合症例検討会に参加、または症例の発表を担当します。
□その他適宜、院内外講師によるレジデント教育講義を行っています。

08 研修医の到達目標

【経験すべき症候】

外来又は病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。
ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便秘異常（下痢・便秘）、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、成長・発達の障害、妊娠・出産、終末期の症候（29 症候）

【経験すべき疾病・病態】

外来又は病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。
脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）（26 疾病・病態）

※ 経験すべき症候及び経験すべき疾病・病態の研修を行ったことの確認は、日常業務において作成する病歴要約に基づくこととし、病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン（診断、治療、教育）、考察等を含むこと。

【その他 研修など】

全研修期間を通じて、感染対策（院内感染や性感染症等）、予防医療（予防接種等）、虐待への対応、社会復帰支援、緩和ケア、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）、臨床病理検討会（CPC）等、基本的な診療において必要な分野・領域等に関する研修を含むこと。また、診療領域・職種横断的なチーム（感染制御、緩和ケア、栄養サポート、認知症ケア、退院支援等）の活動に参加することや、児童・思春期精神科領域（発達障害等）、薬剤耐性菌、ゲノム医療等、社会的要請の強い分野・領域等に関する研修を含むことが望ましい。

09 研修医の評価方法

評価システムとしてEPOC（オンライン研修評価システム）を採用しています。研修医は、自己の研修内容を自ら記録し評価します。指導医も、研修中の研修医の観察指導を行い、目標達成状況を評価表から把握し評価します。両者を研修管理委員会において総合判断します。

10 プログラム修了の認定

2年間の研修医の到達度の評価に基づき、研修管理委員会の承諾を得た後に関西電力病院長が卒後臨床研修プログラム修了認定証を交付します。

11 研修医の処遇

- 給 与：当院の定めるところにより支給します。（月例30万円、年収500万円程度（賞与、諸手当込み））
- 社会保険への加入：研修期間中は健康保険（関西電力健康保険組合）、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、介護保険に加入します。
- 預金制度：持家財形貯蓄制度や一般預金制度などがあります。
- 医師賠償責任保険扱い：関電病院自体で加入していますが、院外の研修もあるため個人加入も推奨しています。
- 学会・研究会参加費：年2回まで必要経費（旅費・宿泊費・学会参加費）を支給します。
- 休 日：日曜日および法令に定められた祝日の他ほかに、土曜日は隔週の半日勤務で、月に1度指定休を取得できます。
- 休 暇：勤続1年目は15日（※）、2年目は20日の有給休暇を取れます。他に、夏季、結婚、忌服などの特別休暇があります。
※入社日により異なります。
- 宿 舎：病院から近傍の賃貸施設を紹介しますが、関西電力の職員宿舎にも社内基準を満たせば入居可能です。
- 食 事：院内職員食堂を利用できます（有料）。
- 福利厚生：福利厚生代行サービス会社およびカフェテリアプランの利用ができます。
- 健康管理：法令に基づく健康診断を年1～2回受診していただきます。
- そ の 他：医師法第16条の2、同法第16条の3および臨床研修に関する省令を踏まえ、研修期間中に診療のアルバイトをすることはできません。

交通のご案内



電車でご来院の場合

- 阪神電鉄「福島駅」下車3番出口を出てなにわ筋を南へ 徒歩約5分
- JR東西線「新福島駅」下車2番出口を出てなにわ筋を南へ 徒歩約5分
- JR環状線「福島駅」下車なにわ筋を南へ 徒歩約7分
- 京阪電車「中之島駅」下車6番出口を出てなにわ筋を北へ 徒歩約3分

バスでご来院の場合

- 大阪シティバス玉江橋下車 徒歩2分
- 大阪シティバス浄正橋下車 徒歩4分

お車でご来院の場合

- 玉江橋北詰交差点を西へすぐ

お問い合わせ先

〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1-7

HP <https://kanden-hsp.jp/> TEL 06-6458-5821(代表) FAX 06-6458-6994

E-mail 病院ホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

研修医募集要項

求人者	名称	関西電力株式会社 関西電力病院	
	所在地	大阪市福島区福島2丁目1番7号 電話(06)6458-5821	
	代表者	院長 滝 吉郎	
	採用担当	庶務課 久保	
	事業内容	総合病院	
	勤務先	関西電力病院 基幹型臨床研修病院	
	現在従業員	詳しくはこちら	
求人内容	求人職種	臨床研修医(ジュニアレジデント) [2025年3月医師免許取得見込者]	
	応募資格	(1)2024年度(2025年3月)医学部卒業見込み者及び卒業生で第119回医師国家試験を受験する者 (2)医学部卒業生で医師免許取得後臨床研修を行っていない者 (3)上記(1)もしくは(2)の者で、マッチングシステムに参加登録する者	
	採用予定人員	8名	
労働条件	給与関係	給与: 月例30万円 前年度実績: 年収500万円程度(賞与、諸手当込み) 賞与: 年2回合計18万円程度(6月、12月) 諸手当: 当直手当、時間外手当等あり 通勤費: 全額実費支給	
		勤務時間	8:30~17:10(休憩1時間)、但し土曜日は8:30~12:00
		休日	日曜日、隔週土曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3) 指定休日1日/月
		休暇	1年目: 15日 2年目以降: 20日 他に夏期休暇(3日)などの各種特別休暇あり
福利厚生	社会保健	厚生年金、健康保険、雇用保健、労災保健等	
	寮・社宅	あり(JR西九条駅付近・入居条件あり)	
選考方法	応募方法	自由応募	
	選考方法	筆記試験(電子辞書を含む辞書の持ち込み不可)・面接 応募者多数の場合、書類選考を実施	
	応募締め切り	2023年 月 日()※当日消印有効	
	採用選考日	第1回: 2024年 7月 日() 第2回: 2024年 8月 日() 第3回: 2024年 9月 日()	
	選考場所	関西電力病院	
	マッチング	参加	
	その他	・選考における交通費等は当社基準によりお支払いいたします。 (関西圏以外のみ) ・マッチングで定員に達しない場合は、マッチング終了後個別に募集し 選考いたします。	
申込方法	申込方法	書類郵送により受け付け	
	提出先	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院事務局 採用担当 宛	
		提出書類	<u>応募書類(1)~(3)</u> 成績証明書